

今年は今国勢調査の年です

調査にご協力をお願いします

今年の10月1日を基準日として全国一斉に国勢調査が実施されます。国勢調査は国内に住んでいるすべての人を対象とするもので、行政の基礎となる人口・世帯の実態を明らかにする国の最も基本的な統計調査です。国勢調査は大正9年以来ほぼ5年ごとに行われており、平成17年国勢調査はその18回目にあたります。今回の調査は、人口転換期を迎えつつある日本の姿を明らかにするための大切な調査となります。

Q1 どんなことを調べるの？



国勢調査は日本国内の人口、世帯、就業者などの状況を地域別に明らかにするために行われる、国の最も基本的な統計調査で、「統計法」に基づき、国内に住んでいるすべての人を対象として行います。調査事項は「国勢調査令」という政令で決められており、平成17

年国勢調査では次の事項について調査します。

- 世帯員一人ひとりについて
氏名、男女の別、出生の年月、世帯主との続柄、配偶の関係、国籍、1週間に仕事をしたか、1週間に仕事をした時間、勤めか自営か、別の、従業地または通学地、勤め先などの名称および事業の内容（産業）、本人の仕事の内容（職業）、計12項目
- 世帯について
世帯の種類、世帯員の数、住居の種類、住宅の建て方、住宅の床面積、計5項目

Q2 どのように調べるの？



平成17年国勢調査は、平成17年10月1日現在で全国一斉に行われます。調査の対象は、日本にふだん住んでいるすべての人です。（約1億2,800万人。外国人も含まれます）

国勢調査は、国（総務省統計局）▼都道府県▼市区町村▼国勢調査指導員▼国勢調査員▼世帯の流れで行います。9月下旬から市の推薦に基づき総務大臣が任命した調査員が、各世帯を訪問して調査票を配布します。世帯で10月1日現在の状況を調査票に記入していただいた後、10月上旬までに調査員が調査票を集めるという方法で行います。

Q3 調査に答える義務は？



調査の対象者には答える義務があります。

統計調査を実施し、正しい統計を得るためには、正確に回答してもらうことが必要となります。このため、「統計法」および「国勢調査令」において、答える義務について規定しています。

また、調査関係者には守秘義務が課せられています。調査の対象者には答える義務がある一方で、安心して調査に協力できるように、調査員をはじめとする調査関係者には「統計法」により守秘義務が規定されています。みなさんが記入した内容は大切に守られますので、安心して記入してください。

Q4 調査結果はなに使うの？

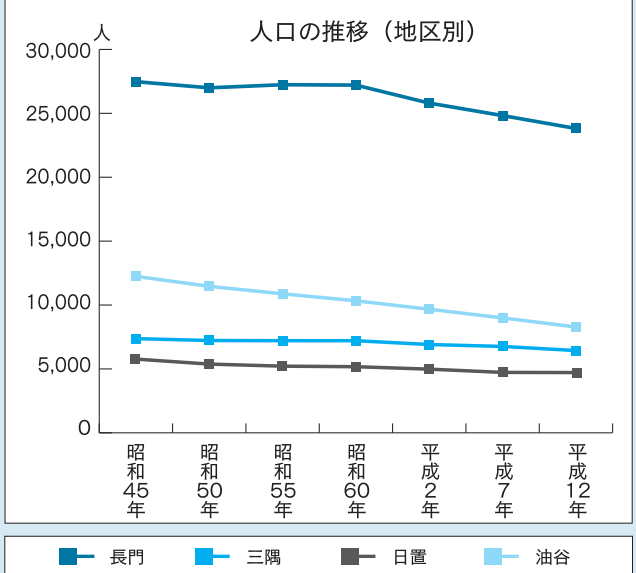
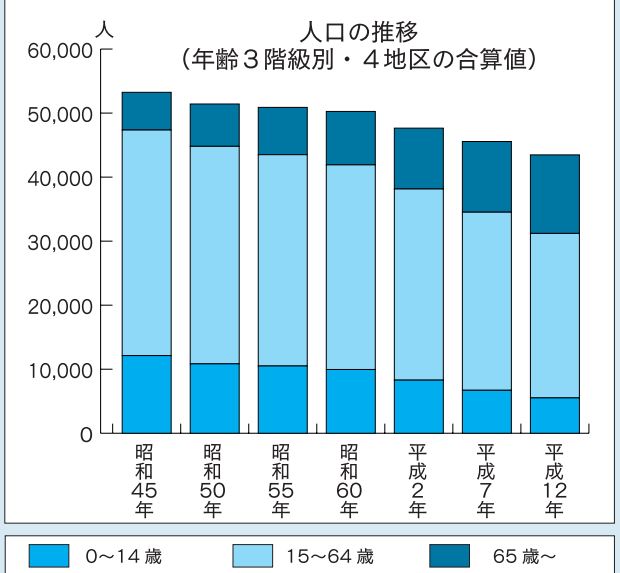


国勢調査からは、人口や世帯に関して様々な結果が得られます。それを過去の結果とあわせてみることで日本の人口の推移などを知ることができ、外国の結果と比較することもできます。国勢調査の利用例を紹介します。

- 法定人口として
議員定数の決定： 都道府県議会や市区町村議会の議員数は、国勢調査の結果による人口を基にして決められます。
- 市や指定都市などの設定要件：
市や指定都市、中核市となるための要件に、国勢調査の結果による人口が用いられます。
- 地方交付税交付金の配分：
地方交付税交付金の配分基準を決める際に国勢調査の結果による人口や世帯数が用いられます。
- 都市計画の策定：
都市計画区域を定める際に、国勢調査の結果による人口が用いられます。
- 過疎地域の要件：
過疎地域を定める場合に、国勢調査の結果による人口の減少率が用いられます。
- 衆議院議員選挙区の画定：
衆

- 国および地方公共団体の各種施策の資料として
社会福祉： 福祉施策の基礎資料となる高齢者の一人暮らし世帯、母子世帯などの統計を地域別に明らかにします。
- 経済政策：
男女・年齢別の就業者数、産業・職業別の就業者数などは、各種の経済政策の策定のための基礎資料となります。
- 防災対策：
人口の地域分布、人口密度、昼間人口などのデータは、消防設備や避難区域などの防災設備を整えるための重要な資料となります。
- 人口の分析資料として
毎月の推計人口、将来の人口や世帯数の推計、平均寿命をみる生命表などはいずれも国勢調査の結果を基に計算されています。
- 国勢調査の結果は、どなたでも閲覧・利用ができます
統計局ホームページ
<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/index.htm/>
- 統計データ・ポータルサイト
<http://portal.stat.go.jp/>
- 国勢調査に関する問い合わせ
長門市役所企画振興課
企画調整係 ☎23-11116
山口県統計課人口統計班
☎083-9333-2650

過去のデータから見る長門市



国勢調査による年齢3階級別人口の推移

	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
0~14	12,126	10,839	10,504	9,958	8,297	6,713	5,524
15~64	35,227	33,972	32,999	31,957	29,849	27,813	25,686
65~	5,894	6,610	7,389	8,344	9,504	11,039	12,263
総数	53,247	51,421	50,892	50,259	47,656	45,565	43,473

国勢調査による地区別人口の推移

	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
長門地区	27,815	27,327	27,574	27,543	26,110	25,118	24,092
三隅地区	7,366	7,221	7,204	7,202	6,900	6,748	6,419
日置地区	5,741	5,342	5,178	5,134	4,941	4,681	4,668
油谷地区	12,325	11,531	10,936	10,380	9,705	9,018	8,294

調査員の仕事は今回が初めてです。最近、身近に感じる少子高齢化を調査に携わることで、もともと目に見える形で感じられるのではないかと思います。調査にあたっては個人情報を守り、正確を期すように自分も勉強しながらがんばってまいります。みなさんのご協力をお願いします。



早川 義勝さん
(通1区担当)

9月下旬から調査員が調査票の記入のお願いに、あなたの地区を訪問します。調査員は市が推薦し、総務大臣が任命した非常勤の国家公務員です。調査内容については必ず秘密を守ることが法律で義務づけられていますので、安心して調査に協力ください。また、調査票の記入方法や設問の内容などよくわからない点があれば、遠慮なくお気軽にお尋ねください。

調査員からひとこと

調査員の仕事は前回に引き続き、2回目となります。前回はみなさんのご協力のおかげで無事に終えることができました。今回も親しみやすい笑顔で心がけて、調査にのぞみます。記入の仕方など、何でもお答えできるようしっかりと勉強しますので、お気軽にお尋ねください。



藤田 晴美さん
(門前区担当)

平成7年、平成12年に続き今回で3回目の国勢調査調査員を引き受けることになり、責任を感じています。調査にあたってはこれまでの経験を活かし、個人情報など守秘義務を守り、慎重に調査を進めたいと思います。みなさんのご協力をお願いします。



植田 康治さん
(旭町区担当)

5年に一度の国勢調査がやってきました。調査員は3回目ですが、毎回、地域が変化している事を感じます。新しい家が建ち、素敵な家族がやって来たり、仲の良かった老夫婦が一人暮らしをされていたりとか5年ひと昔と申します。新しい発見を求めてがんばります。



橘 明彦さん
(古市地区担当)

あれから5年、調査員の仕事は今回で3回目ですが、原稿の依頼があったときにすこい責任の重さを感じました。今まで以上に担当の地区の方に笑顔で接し、調査票の記入の仕方をわかりやすく説明し、みなさんのご理解、ご協力のもと、調査員の仕事をがんばりたいと思います。



中本真理子さん
(麓・辻並地区担当)

今回初めて国勢調査の調査員を引き受けることになりました。5年に一度の全国調査ということですが、その大役に多少不安もありますが、正確な調査を心がけ、地域に貢献できるよう頑張りたいと思っています。若輩者ですが皆さんご協力をお願いします。



作村 亜美さん
(里・伊上浦地区担当)

前回に続き今回も国勢調査の調査員をお引受することになりました。国勢調査はすべての施策等の基礎資料に利用される国の重要な調査です。微力ではありますが過去の調査員経験等をもとに少しでも貢献できるように頑張りたいと思っています。



河本 浩彦さん
(大浦東地区担当)

2005 国勢調査調査票
指定統計第1号
記入は黒の鉛筆で
この調査票は、統計以外の目的には使用しませんから、ありのままを記入してください。

平成17年10月1日
総務省統計局

1 氏名及び男女の別
2 世帯主との続柄
3 出生の年月
4 配偶者の有無
5 国籍

6 (1) 世帯員の数
(2) 住居の種類
(3) 住宅の建て方
(4) 住宅の床面積の合計(延べ面積)

調査票ってどんなの？
調査員が各世帯に配布する書類は次のとおりです。
調査票
調査票の記入の仕方
調査書類整理用封筒
封入用テープ
調査票の記入にあたっては、配布される「調査票の記入の仕方」をよく読み、次の点に注意してください。
調査票は黒の鉛筆で記入してください。
黒の鉛筆がない場合はシャープペンシルで記入してください。
書き間違えた場合は消しゴムできれいに消してから記入してください。

2005 国勢調査調査票
指定統計第1号
記入は黒の鉛筆で
この調査票は、統計以外の目的には使用しませんから、ありのままを記入してください。

平成17年10月1日
総務省統計局

7 1週間に仕事をしましたか
8 従業地又は通学地
9 勤め先・業主などの別
10 勤め先・業主などの名称及び事業の内容
11 本人の仕事の内容

調査票裏面(第2面)
調査票は機械にかけて読みとりますので汚さないようにしてください。
数字は記入の仕方に載っている例を参考にして、枠からはみ出さないように書いてください。
調査票に記入もれや記入誤りがあった場合は、確認のためお尋ねすることがありますのでご協力をお願いします。
提出していただいた調査票は厳重に管理され、記入した内容は決して外部にもれることはありません。安心して調査にご協力ください。



あなたの地区の調査員です (敬称略)

お伺いしますので、ご協力をよろしくお願いします



調査区	調査員	調査区	調査員	調査区	調査員
三 隅 地 区					
滝 坂	栗畑 忠直	黄波戸	森脇 哲雄	里・伊上浦	作村 亜美
一の瀬・三隅中畑	内畠 康男	矢ヶ浦・芽刈	増野 節子	岡・宮ノ馬場	上田 弘文
縦の木	山崎 孝明	へき楽園	林 真由美	上り野	睦田 雅江
宗 頭	河野 正子	黄波戸口	杉村 京子	須方・前方	梅本美代子
宗 頭	沖村美智子	亀山・堀田	岡嶋 眞弓	貝川・綾湖	今津 聖子
兔渡谷	藤井 清子	亀山団地	埜村 順治	上蔵小田	林 香織
麓・辻並	中本真里子	古 市	岡崎 晁子	下蔵小田	大田 恵子
上中小野	篠原 清	古 市	藤村 昌枝	油谷中畑	中村 哲雄
下中小野	宮垣 達彦	古 市	筑後イスズ	渡 場	山角 美穂
明和園	岡藤 昭子	古 市	山本美代子	掛淵東・中	木下 佳子
大竹・正楽寺	山本 浩三	古 市	橘 明彦	掛淵西	高木 伸一
市	近藤 謙志	上城(上城住宅)	竹田三十鈴	上・東・西津黄	梶山富士枝
市	末永美代子	上 城	熊野千代子	東後畑	中野 光子
湯免	岡本 善昭	大内山上・下	松永 敏江	東立石	西村 浩子
湯免清風園	内山 芳之	畑	石田 幸恵	西立石	磯部 智里
三隅中村	田村 弘行	国広・真口	岡崎 悦子	大 畠	兼本 市子
三隅中村	河邊 英治	新市・農土園・小野地	谷野小百合	青 村	藤村 和江
三隅中村・土手	河崎 節子	狩 宿	中村 典子	小 田	山本 等
久原・生島	中野 貞夫	福永病院	丸茂 寛	赤 屋	山本 憲男
三隅病院	伊藤 洋治	一円・向田	藤井 千波	木 吹	山本 實
津雲・飯井	河村 幸子	川 原	岡藤 正作	大川尻	山崎 修二
野波瀬	木村 和恵	日置中村	山本かよ子	中ノ森	平岡 澄江
野波瀬	大田 浩	東坂本・西坂本	松永 義昭	田久道	新山八重子
野波瀬	宮崎三津子	炭 床	波多野朗子	白 木	藤永まゆみ
野波瀬	池永スミエ	野田北・北山	西村 早苗	久 津	新中 和子
野波瀬	河村 勘治	雨乞・野田南	上田佳代子	久 津	小野 健児
向 山	佐方 健	長 行	中山せつ子	久津(中)	本永 静之
豊 原	山中タミ子	油 谷 地 区		大 和	山本 良子
豊 原	西村しげ子	亀 田	沖野 敏江	大浦東(西)	奥村 容子
豊原・二条窪	野村 正則	あけぼの園	高木 伸一	大浦東(中)	大平 美恵
平 野	中嶋ゆき子	植 松	大田富美代	大浦東(東)	河本 浩彦
上東方・下東方	田中菜穂子	荒 人	岡嶋 英明	大浦西(西)	秋山 弘美
小 島	村上 齊	長久・広中	竹下 哲朗	大浦西(東)	平岡 文子
小 島	朝枝 光子	杣地・有宗	藤永シズエ	大浦西(中)・養寿園	山本 晃子
浅 田	西嶋 清美	稲 石	波多野陽子	油 谷	井関 信正
浅 田	前田 洋子	人 丸	藤井 君子	南 方	原田 洋子
殿村新開	大田 忠男	新別名	柴田 昌俊	本 郷	中谷 隆
向開作	金子 美鈴	駅 通	岡田マサヨ	山 崎	宮崎恵美子
沢 江	山崎まさ子	大 迫	永藤 登	水 岬	池永みどり
沢 江	永岡 美枝	東大坊(北)	岡藤 恵美	上野東・西	和田 育江
上 ゲ	山崎 清	東大坊(南)	内田みゆき	川尻東	平川 晴美
日 置 地 区					
長崎・上城ゴルフ場	上田 茂	芝崎・大坊	藤井 朝子	川尻東	田浦 和子
黄波戸	橋本 時子	田上・二ノ瀬	塩瀬 愉子	川尻東・西	中村加奈江
黄波戸	福川 文子	坂根・札場	山縁 勉	川尻西	松岡 洋子
黄波戸	山根 康治	山 根	高橋美千代	川尻西	藤川真由美
		河原浦・大江	小西ハル子		
		浅井・尾崎	中野恵美子		

調査区	調査員	調査区	調査員	調査区	調査員
長 門 地 区					
通1区	早川 義勝	田屋区	村上 正義	上川西2区	杉原 定一
通2・3区	村田八千代	田屋区	境田 政美	板持1区	山本 伸一
通4・5区	荒川恵美子	田屋区	米谷 弘	板持1区	秋本 浩
通6区	池永 愛子	駅前区	中元 覚	板持2区	長谷川正司
通7・8区	浜谷 詩子	駅前区	三輪 裕明	板持3区	小林 宏
通9区	早乗トミ子	湊1東区	伊藤 豊治	板持3区	溝部 正明
通10区	山田 和子	湊1東区	岩藤 睦子	板持4区	開作 一明
通11区	中谷 和子	湊1西区	小崎 絢三	板持4区	斉藤 靖二
通12区	木嶋 記代	湊2区	財満 彰	板持4区	長谷川幸次
通13区	山田きよ子	湊2区	小野 智子	殿台区	本田 博
通14区	上田むつ子	湊中央区	小林 武人	大河内区	岡本眞智子
通15区	白石 悦子	湊中央区	中山多加子	小河内区	中村 正雄
通16区	新宅 久栄	湊3区	福岡 鬼一	福祥苑	木村 義政
白濁1区	西村 里子	湊3区	吉田 修	ゆもと苑・吉祥苑	池田 純雄
白濁1区	橋本 政美	中山区	池永 啓子	河原区	井上 恵子
白濁2区	大田 芳江	中山区	久保 晴美	河原区	高木富美子
白濁3区	柿並 勝江	中山区	植中 直子	門前区	赤川 純子
白濁3区	仲野 義彦	中山区	田村日出美	門前区	早川 芳子
水興寮	浜砂 博昭	長門総合病院	小林 義政	門前区	藤田 晴美
祇園町区	田屋原純子	緑ヶ丘区	新山 博志	門前区	原田ハツミ
祇園町区	林 宏治	緑ヶ丘区	安部多恵子	湯本区	上田 紀夫
南町区	安部 言思	恵光苑	住澤 孝彦	湯本区	原田 順志
栄町区	小澤 健策	長門高校学生寮	村田 勇吉	湯本区	池永 紀子
本町区	山崎 昇	藤中区	大谷真由美	湯本区	坂野 貴
北本町区	亀谷 魁一	藤中区	藤村 福一	三ノ瀬区	田村 重夫
洲崎町区	五嶋 信子	藤中区	下瀬 忠	山小根区	久保 寿男
今浦町区	安部 敏郎	江良区	国近 孝子	渋木中区	上野 定一
鍛冶屋町区	秋津 宏三	江良区	松田 敏一	大埜区	山根モトミ
中新町区	立野 勲	江良区	松田セツ子	坂水区	山田 昌美
新町区	坂本 和磨	正明市1区	林 幸次	渋木1区	小枝 篤
幸町区	佐野 正人	正明市1区	川崎 洋	渋木2区	有田 源一
旭町区	植田 康治	正明市2区	近藤 久三	渋木3区	吉地 浩輔
錦町区	宮川 泰子	正明市2区	末永 幸夫	真木区	岡藤 知政
新屋敷町区	斎木 洋子	正明市3・4区	藤野 範子	小原区	金村 稔
新屋敷町区	河崎 満	正明市4区	大石 國昭	木津区	原田久仁恵
新屋敷町区	上田 光恵	正明市4区	田村 陽祐	郷区	村田ひとみ
新開町区	林 末子	正明市4区	伊勢嶋知恵	黒川区	徳田 茂
新開町区	板谷 重雄	正明市5区	岡 功	大羽山区	藤井 恵子
鳥越1区	松本 肇	上郷区	小川 征次	大羽山区	藤井 経雄
鳥越1区	大隅 武将	下郷区	河村 正之	湯町区	坂倉知恵子
鳥越2区	土田 龍雄	下郷区	久保 悦子	湯町区	矢野 博史
鳥越2区	沓野 昭次	下川西区	金子 虎昭	湯町区	山下 哲由
大日比区	大田ミチ子	上ノ原区	西岡 洋二	湯町区	藤井 信義
大日比区	奥村登美子	後ヶ迫区	安成 英人	俵山湯の家	大田 哲巳
大泊区	廣田 征人	開作区	磯部 正勝	上政区	岡林 則孝
大泊区	原田日南子	境川区	辻村 利夫	上安田区	宮本 俊明
青海区	宇野 進	上川西1区	進藤 正子	下安田区	相部ひで子
田屋区	田中 和代	上川西1区	山本 松雄	七重区	森脇 正博
田屋区	溝部 俊彦	上川西2区	上田 固成		
田屋区	溝部 博	上川西2区	磯部 安枝		
		上川西2区	中野 京子		

※ 国勢調査における調査区割りの関係上、隣接する行政区の調査員が訪問する場合があります